

「運動あそびは学びの宝庫！」

～ 子どもの頃の遊びと習い事・自分で決める大切さ～

先日、スマイルホールのスタッフ間で、こんな会話がありました。

スタッフOさん 「なぜ子どもに水泳をやらせようと思ったの？」

スタッフKさん 「うーん・・・泳げるようになって欲しいから・・・かな？」（以下省略）

何気なく聞いていた私は、十数年前の息子のことを思い出しました。幼稚園入園と同時に幼稚園の体操教室に申込み、その後ママ友に誘われてスイミングとサッカー教室に申込みました。ここだけ読むと私が教育熱心なママのように思えますが、全くそのようなことは無いです 笑（結果、スイミングとサッカーは、長続きしませんでした。）

上に書いた習い事は、一つ一つの競技を極めて欲しいからやらせたのでは無く、体を動かすことが大好きだった息子に“遊びの一つ”として“様々な運動を経験”させてあげたかったので習わせました。もっと言うと、“カラダ全体を満遍なく動かせるようになって欲しかった”“一人っ子の息子に少しでも多くの友だちと関わりを持たせて、人間関係を学んで欲しかった”という思いで様々な運動教室に参加させました。

（念のため・・・あくまでも息子の意思を尊重し、無理強いはさせていませんよ 笑）

現在、息子は高校1年生。小学3年生から始めた野球を現在も続け、毎日のようにユニホームを泥だらけにして白球を追いかけています。他の競技を選ばずの野球でしたが、様々な運動教室での経験が無駄にはなって無かったと感じています。サッカーでボールを追って走ることは、野球での走力に。体操教室で養われた柔軟性は、怪我の予防に。スイミングで培った全身運動は、巧みな身のこなしに繋がっていると思っています。（高校での遠泳でも活かされていました。）

精神面でも大きな収穫があり、スポーツを通して自分に自信が持てた息子は、引っ込み思案を克服。友達関係も広がっていきました。“自分で選んだ道”だからこそ、悩みもがきながらも、ここまで長く続けて来られたのだと、私は密かに思っています。

幼い子どもは、まだ自分の意思表示が上手に出来ないもので、親の意向を強く反映させてしまいがちです。幼少期は一つのものに特化させてしまうよりも、“遊びを通して楽しく全身を動かさせて”あげることが大切です。結果、将来自分の意思で進もうとする道に少しでも役立つならば親として嬉しいですね。 ※幼い頃に経験していない動きは、大きくなってから習得が難しいとのこと

スマイルホールには“走る”“登る”“跳ぶ”など全身を使って遊べる遊具がたくさんあります。そして、全て大人も一緒に遊べる遊具です。親子で触れ合い、楽しみながら心身共に大きく成長していくお子さんを見守っていただけると素敵ですね。



【プレイゾーン】

利用料 無料

利用時間 10:00～12:00、12:30～14:30、
15:00～17:00 ※土日祝は1時間入替制

休場日 毎週木曜日、年末年始（12/29-1/3）

※木曜日が祝日の場合は開場し、翌日を休場とします。

★休日等で多くの方が来場された場合には、
入場制限や利用時間の短縮を行います。

★原則として、保護者同伴でのご利用をお願いします。

【スポーツゾーン】

子どもや親子を中心としたスポーツ教室などの運動プログラムを行います。また、プレイゾーン休場日及び夜間は、一般スポーツ団体等に貸出します。

れんげじスマイルホール
「キッズパーク」ホームページ

スポーツゾーンで行う運動プログラムの詳細は
下記URLをご覧ください。

<http://rengelijidspark.com>

